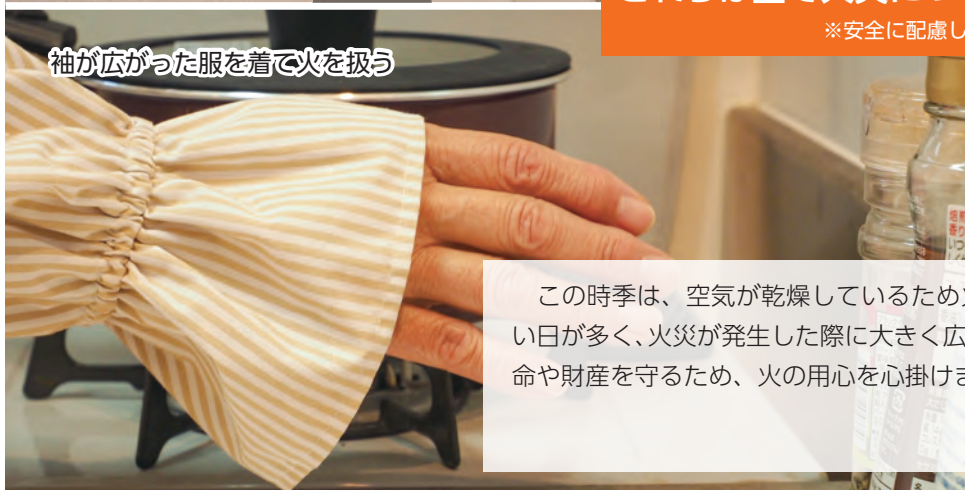


空気が乾燥し、火災が起きやすい時季 命を守る「火の用心」



これらは全て火災につながる可能性があります

※安全に配慮し撮影しています。

この時季は、空気が乾燥しているため火災が発生しやすくなります。また風が強い日が多く、火災が発生した際に大きく広がり、被害が大きくなる可能性があります。命や財産を守るため、火の用心を心掛けましょう。

問 消防本部予防課 ☎ 74-1429

この時季の火災予防のポイント

まだまだ厚着をする・暖房を使う機会が多い時季です。厚着や暖房が火災の原因となることもあるので、以下の点に注意して過ごしましょう。

▶ 着衣着火を防ぎましょう

服に火が付く着衣着火は、自身が火元となるため非常に危険です。以下の点に注意しましょう。

- 火に近づき過ぎない
- こんろ使用の際は火力の調整とこまめな消火
- 袖や裾が広がったゆとりのある服・ストール・マフラーは、火を扱う時には着用しない
- 火の周囲は整理整頓



燃えにくい防災製品の活用を

▶ ストーブ使用の際は、ここに注意！

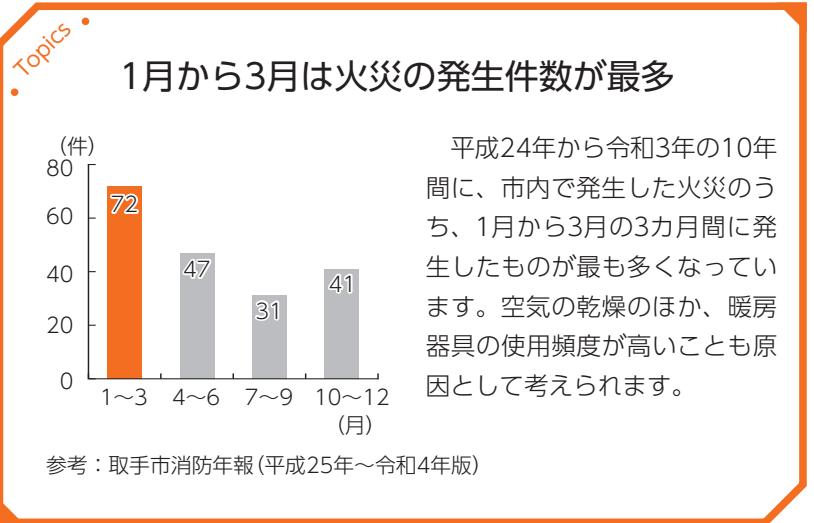
ストーブは住宅火災の主な原因の一つです。以下の点を守って使用してください。

- ストーブの近くで洗濯物を干かさない
- 就寝時は消す
- 壁から離して使用する
- つけたまま灯油を給油しない



▶ 動画でも確認！

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)では、着衣着火・ストーブ火災の危険性を広めるため、発火までの実験動画を公開しています。



住宅用火災警報器の点検・設置を

住宅用火災警報器は、火災発生を感知し警報音で知らせる機器です。天井や壁に設置することで、火災の早期発見に大きな効果があります。市では、平成21年から全ての住宅で設置が義務となりました。電池切れや故障がないか、ボタンを押すかひもを引き、音を鳴らす作動確認を定期的を実施してください。また、10年を目安に本体の交換が推奨されています。

